

「国語科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事なことを落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てていきます。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てていきます。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

- 【関心・意欲・態度】** 国語に関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書をする力。
- 【話す・聞く能力】** 相手に応じ、経験したことなどを事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする力。
- 【書く能力】** 経験したことや想像したことなどを、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く力。
- 【読む能力】** 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む力。
- 【言語についての知識・理解・技能】** 音声・文字・語句・文や文章、言葉づかいなどの基礎的な事項について正確に理解する力。書写では文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方を理解して文字を正しく書く力。

評価の仕方について

✿ ノート・プリント・テスト・授業に臨む姿勢や発言などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

| 前期 | 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|----|-----------------------|--|---|---|---|---|---|----|
| | 単元・題材 | みんなのせかい はきはきあいさつ よろしくね じをかこう ほんがたくさん あいうえおのうた | あめですよ ともだちにはなそう ことばあそび あひるのあくび ぶんをつくろう | おぼさんとおぼあさん きいてつたえよう 「はへを」をつかってぶんをつくろう どうやってみをまもるのかな いしやといしや こんなことしたよ | おおきなかぶ ほんのひろば えにつきをかこう | あるけあるけ/木 はなしたいなききたいな かんじのはなし かいがら かぞえうた | おはなしをよもう ・サラダでげんき | |
| 書写 | ・しせいともちかた ・じをかくしせい | ・ひらがなのかきかた ・ひらがなのれんしゅう | ・ひらがなのかきかた ・「まがり」と「おれ・おりかえし」 | ・「むすび」 | ・せいかつにひろげよう ・なまえをかこう | ・かん字のかきかた ・「とめ」「はらい」「はね」 | | |
| 後期 | 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| | 単元・題材 | かたかなをかこう ほんはともだち わたしのはっけん よう日と日づけ | のりもののかををしらべよう ・いろいろなふね おもいだしてかこう 「すきなもののクイズ」 | ことばあそびうたをつくろう いろいろなおはなしをよもう ・おとうとねずみチロしをよもう ・みみずのたいそう | むかしばなしをたのしもう おはなしをつくろう いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう ・歯がぬけたらどうするの | 「じゃんけんやさん」をひらこう まどめてよぶことば こえに出してよもう ・スイミー | かたちのにているかん字 「おもいで」ブックをつくろう | |
| 書写 | ・「おれ」「まがり」「そり」 | ・文字のかたち | ・ひつじゅん | ・せいかつにひろげよう ・かきぞめをしよう | ・かん字のかきかた | ・まどめ ・ひらがなとかん字 | ・せいかつにひろげよう ・日本語をあじわおう 「花さかじいさん」のうた | |

4 お家の方へ

- ・ 学習で使う物は、教科書・漢字ドリル（9月頃から）・ノートです。忘れ物のないようにしてください。
- ・ 時間を見つけて、本の読み聞かせをしてあげてください。
- ・ 毎日の宿題として文字の練習や音読を出しますので、ご家庭で見てください。

「算数科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法や減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚が豊かになるようにします。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚が豊かになるようにします。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【関心・意欲・態度】数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととする力。

【数学的な考え方】算数的活動を通して、数理的な処理に親しめる力。

【数量や図形についての技能】整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを比較したり、身近な図形を観察したり構成したりする力。

【数量や図形についての知識・理解】数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方や整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねることが出来る力。

評価の仕方について

✿ ノート・プリント・テスト・授業に臨む姿勢や発言などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

| | | | | | | | | |
|--------|-------|--------------------|----------------------|--|---------------------------------|--|------------------------------------|----|
| 前 期 | 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | 単元・題材 | なかまづくり とかず | なんばんめ いくつといく つ | あわせていく つ ふえるとい くつ のこりはいく つ ちがいはい くつ | 10よりおおき いかず なんじ なん じはん | どちらがながい 3つのかずのけいさ ん | どちらがお おい たしざん | |
| 後 期 | 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| | 単元・題材 | たしざん かたちあそ び | ひきざん | どちらがひろ い | おおきいかず | なんじ なんぷ ん ずをつかって かんがえよう かたちづくり | ばしょをあら わそう 1ねんのふく しゅう | |

4 お家の方へ

- ・ 学習で使う物は、教科書・計算ドリル・ノートです。忘れ物のないように準備をしてあげてください。
- ・ プリントや計算カードの宿題を出します。ご家庭でも見てあげてください。
- ・ 学校で学習していることが、生活の中でも生かせるような話をしてください。
(数<いくつあるかな?> 長さ<どちらが長いかな?> 図形<どんな形かな?>)

「生活科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 自分と身近な人々や地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、それらに愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにしていきます。
- (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにしていきます。
- (3) 身近な人々、社会や自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにしていきます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【生活への関心・意欲・態度】 身近な人、社会、自然や自分自身に関心を持ち、進んでそれらと関わり、楽しく学習し、意欲的に遊びや手伝いなどをしようとする力。

【活動や体験についての思考・表現】 調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それを素直に表現しようとする力。

【身近な環境や自分についての気付き】 具体的な活動や体験をしながら、学校や家庭及び地域と生活、公共物の利用、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子に気付く力。

評価の仕方について

✿ プリント・授業中の活動・授業に臨む姿勢や発言などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

| | 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|----|-------|---|----|----|---|---|---|----|--|
| 前期 | 月 | がっこうだいすき | | | | | | | |
| | 単元・題材 | なつだいいっしょにあそぼうよ いきものとなかよし | | | | | | | |
| 後期 | 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| | 単元・題材 | たのしいあきいっぱい つくろうあそぼう じぶんでできるよ ふゆをたのしもう もうすぐ2ねんせい | | | | | | | |

4 お家の方へ

- ・ 「ふしぎだな、どうして？」などのつぶやきを大切にしてください。
- ・ 活動を大切にしていきますので、ご家庭でも、「どんなことをしたの？」と積極的に話をしてください。

「音楽科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- (2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽活動の楽しさに気付くようにします。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴けるようにします。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【音楽への関心・意欲・態度】 楽しく音楽にかかわり、音や音楽に関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする力。

【音楽表現の創意工夫】 音楽を形づくっている要素を聴きとり、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いをもてる力。

【音楽表現の技能】 音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽を作ったりする力。

【鑑賞の能力】 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏の楽しさに気づき、味わって聴く力。

評価の仕方について



音楽活動の観察や演奏の聴取などをもとに評価をしていきます。

3 年間の学習計画

| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|----|-------|--|---|---------------------------|---|---|----------------|------|--|
| 前期 | 月 | | | | | | | | |
| | 単元・題材 | おんがくに あわせて ・うたにあわせてあそぼう ・きょくにあわせて からだをごかそう ・わらべうたであそぼう ・うたにあわせてみぶりであそぼう | リズムとなかよし ・たんとうんで あそぼう ・たんとうんの りずむを ・ジェンカのリズムで あそぼう ・たんとたんのリズムで あそぼう | につぼんのうた みんなのうた つくろう | どれみとなかよし ・どれみにあわせて うたにあわせて もりあがりをかんじて | からだをうごかそう からだをうごかそう うたおう | こんにちはけんばんハーモニカ | | |
| 後期 | 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| | 単元・題材 | いいおとみつけて ・いろいろなおとを みつけよう おとでよびかけっこ ・がっきのおとでよびかけっこしてあそぼう | | | ようすをおんがくで ・こねこになって おどろう ・どうぶつのようすを うたやがっきであらわそう ・おもちゃのようすをそうぞうしながら きょくにあわせてみぶりをしよう | ききあって あわせて おとのスケッチ ・ほしのおんがくを つくろう | | きみがよ | |
| | | こんにちはけんばんハーモニカ | | | | | | | |

4 お家の方へ

- ・一年生の音楽活動のねらいは「音楽あそび」です。歌いながら体を動かしたり、曲に合わせて身体表現をしたりすることが主な内容です。
- ・楽器の演奏は、けん盤ハーモニカと打楽器の演奏が主です。
けん盤ハーモニカを吹くとどうしてもつばが出てしまいます。ケースの中にハンカチを入れておいてください。

「図画工作科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 表したいこと、作りだしたいものを自分の表現方法で作りだす喜びを味わうことができるようになります。
- (2) 教材をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせることができるようにします。
- (3) かいたり、作ったりしたものなどを見ることに関心をもち、その楽しさを味わえるようにします。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【造形への関心・意欲・態度】 表したいこと、作りたいものを自分の表し方で作り出すことや、作ったものなどを見ることに関心をもち、進んで造形表現活動を楽しもうとする力。

【発想や構想の能力】 感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見付け、その思いをふくらませながら表したり、作り方を考えたりする力。

【創造的な技能】 かいたり、作ったりしながら思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる力。

【鑑賞の能力】 かいたり、作ったりしたものの造形的な面白さなどに気付き、楽しく見る力。

評価の仕方について



作品・授業中の活動・授業に臨む姿勢や発言などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

| 前 期 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-------|--|---|----|----|---|---|---|----|
| 単元・題材 | | おひさまにここに チョコチョコキ かざり ひもひもほねんど ぼく、わたしのたからもの いろいろなかたちのかみから せんせいあのね | | | おってたてたら コロコロぺったん シャカシャカ やぶいたかたちからうまれたよ いろいろなはこから | | | |
| 後 期 | | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
| 単元・題材 | | ごちそうパーティーをはじめよう みてみておはなし クルクルまわして はこ かざるんるん でこぼこはっけん! はこでつくったよ | | | のってみたいないきたいな どんどんならべて コロコロ ゆらりん いっしょにおさんぽ なにがでてくるかな うつしたかたちから ようこそ1ねんせい | | | |

4 お家の方へ

- ・ 題材によっては、通信などで材料集めをお願いすることがあります。そのときには、ご協力をお願いします。
- ・ 学習で使うものを、学年通信や「生活ノート」でお知らせします。忘れないように準備してください。
- ・ のりやクーピーなどは、使い切ったら、その都度補充をお願いします。
- ・ 学校に来られた際に、お子さんの作品をじっくりご覧になり、いいところをほめてあげてください。

「体育科」はこんな学習をします

1 学年の教科目標

- (1) 基本の運動およびゲームを簡単なきまりや活動を工夫して、楽しくできるようにするとともに、体力を養います。
- (2) だれとでも仲良くし、健康・安全に留意して運動する態度を育てます。

2 子どもたちにこのような力を付けていきます

【運動や健康・安全への関心・意欲・態度】

- ・ 仲間との競争やいろいろな課題の取組などを楽しく行うことができる力。
- ・ 順番やきまりを守って仲良く運動をしたり、運動する場所や器械・器具の安全に気を付けたり、水遊びの心得を守ったりすることができる力。
- ・ 規則を守り、互いに仲良くゲームを行い、勝敗を素直に認めることができる力。

【運動や健康・安全についての思考・判断】

- ・ 競争や運動の仕方を知り、活動ができる力。
- ・ やさしい遊び方を身に付け、みんなで楽しく運動できる力。
- ・ ゲームを楽しむための簡単なルールを工夫する力。

【運動の技能】からだの基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きができる力。

評価の仕方について



授業中の学習態度や課題に取り組む姿勢などを総合的に評価します。

3 年間の学習計画

| | 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|----|-------|---|----|----|---|---|------------------|----|--|
| 前期 | 月 | からだほぐしのうんどう ゆうぐ・てつぼうあそび かけっこ・リレーあそび どうぶつランド みずあそび | | | | | のりものランド おにあそび | | |
| | 単元・題材 | | | | | | | | |
| 後期 | 月 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| | 単元・題材 | ボールなげゲーム とびっこあそび マットあそび | | | なわとびあそび とびばこあそび ようぐをつかったあそび うごきをつくるあそび ボールけりゲーム | | | | |

4 お家の方へ

- ・ 体操服、赤白ぼうしを必ず準備してください。
月曜日に持って来て、金曜日に持って帰ります。
- ・ お家でも、外でしっかり遊び、運動に親しむようにしてください。
- ・ 規則正しい生活をして（食事や睡眠など）、体力の向上に努めてください。

「道徳」はこんな学習をします

1 道徳教育は

- (1) 人間が本来もっている「よりよく生きたい」という願いや「よりよい生き方を求め実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動です。
- (2) 小学校では、人間としてよりよく生きるために、共通の心構えや行動の仕方を様々な体験や学習を通して学びます。基本的な生活習慣やルール・モラルの指導をしたり、自然体験活動やボランティア活動などの体験活動をしたりして、道徳性の育成を図っていきます。

※ 道徳性とは・・・

- ・人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものです。
- ・人間が人間として共によりよく生きていく上で最も大切にしなければならないものです。

2 道徳教育の評価

- 道徳教育における評価は、児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気付ける働きをもつものです。観察、質問紙、作文などを利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。
- 道徳の時間に関しては、数値などによる評価は行いません。

3 道徳の時間は

- 教育活動全体を通して行う道徳教育の要となるのが道徳の時間です。
- 教師と児童と一緒に、いかに生きるべきかを「共に考え、学ぶ」時間です。
- 児童一人ひとりが主体的に道徳的価値の自覚を図り、道徳的実践力を身に付ける時間です。
- 教材は、「道徳副読本」「こころのノート」「視聴覚教材」などです。

※道徳の時間の基本的な指導過程を紹介します。

| | |
|----|--|
| 導入 | 児童の興味や関心を高める段階 |
| 展開 | ねらいを達成するための中心となる段階 児童一人ひとりが道徳的価値の自覚を深める段階 |
| 終末 | 道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり温めたりして、 今後の発展につなぐ段階 |

4 1年生はこんな学習をします

1 自分自身に関すること

- ・健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
- ・自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。
- ・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。
- ・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直にのびのびと生活する。

2 他の人とのかかわりに関すること

- ・気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作などに心がけて、明るく接する。
- ・幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。
- ・友達と仲良くし助け合う。
- ・日ごろ世話になっている人々に感謝する。

3 自然や崇高なもののかかわりに関すること

- ・生きることを喜び、生命を大切にすることをもち。
- ・身近な自然に親しみ、動植物にやさしい心で接する。
- ・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。

4 集団や社会とのかかわりに関すること

- ・約束や決まりを守り、みんなが使うものを大切にする。
- ・働くことのよさを感じて、みんなのために働く。
- ・父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。
- ・先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。
- ・郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。